

新規事業採択時評価結果（平成30年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

| 事業の必要性 | | |
|--|--|--|
| 国道6号の渋滞緩和により、円滑な物流が確保され、企業の生産性が向上するとともに、国道6号現道（2車線区間）における交通事故の減少など、地域の安全・安心な暮らしに寄与するものである。 | | |
| 評価項目 | 地域の課題 | 関連する計画 |
| 救助活動等 | ・牛久土浦バイパス（I期）区間が、緊急輸送道路に指定されているが、未事業化区間がミッシングリンクとなり緊急時や災害に強い道路ネットワークの構築が課題。 | ※牛久市都市計画マスタープラン（H23.10） ・幹線道路網の整備と連携した緊急用幹線道路の確保、生活道路の計画的な整備による災害時の避難経路及び補給品の輸送経路の確保に努める。 ※つくば市都市計画マスタープラン（H28.2） ・つくば市内の国道や主要地方道等の一部を緊急輸送道路として指定。 |
| 住民生活 | ・茨城県の国道6号現道（2車線区間）における区間別・死傷事故率ワースト5のうち3区間が当該事業の並行部に存在。 ・著しい速度低下が原因と考えられる追突事故が約7割。 | ※牛久市都市計画マスタープラン（H23.10） ・近隣の都市等との広域間のネットワークや、牛久市の地域内、地域間の交流を支える道路網の骨格となる幹線道路を整備。 ※つくば市都市計画マスタープラン（H28.2） ・歩行者・自転車の安全と円滑な自動車交通を確保するため、交通量の多い路線のバイパス整備を進める。 |
| 地域経済 地域社会 | ・国道6号の牛久駅西口周辺では、慢性的な渋滞（混雑度1.10）が発生しており、物流の効率化と速達性が低下。 ・食品関連企業の工場が複数立地しており、国道6号の交通混雑により、物流活動に支障。 | ※牛久市都市計画マスタープラン（H23.10） ・各市街地間及び地域間の連携を強める道路交通体系を整備・強化。国道6号の渋滞対策として、国道6号牛久・土浦バイパスの早期整備を促進。 ※つくば市都市計画マスタープラン（H28.2） ・国道6号のバイパス等の主要幹線道路の整備を促進。 |
| その他 | | |

| 事業の有効性 | | | | | | | | | |
|---|-----------|------------|-----------|------------------------------|------------------------------|------------------|----------------|----------------|----|
| ・当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 ・また、本事業において、災害時にも機能する信頼性の高い高速ネットワークが形成されるとともに、渋滞緩和による物流の効率化や地域の交通環境の改善に寄与するなど、有効性の高い事業と評価する。 | | | | | | | | | |
| 道路ネットワークの 防災機能 | 主な区間 | | 改善 ペア数 | 脆弱度 (防災機能ランク) | | 累積脆弱度 の変化量 | 改善度 | | 評価 |
| | | | | 整備前 | 整備後 | | 通常時 | 災害時 | |
| | 土浦 市役所 | 龍ヶ崎 市役所 | 7 (5) | 0.16 [B] (0.15) [B] | 0.10 [B] (0.09) [B] | ▲1.72 (▲1.47) | 0.02 (0.01) | 0.10 (0.08) | ○ |

| 事業の効率性 |
|--------------------|
| ・都市計画決定手続き完了（H6.4） |

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は牛久市遠山町から土浦市中を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果。